

8-4	「10万円給付」を「効率」と「公正」からとらえ ると ~次の給付は、どうあるべきか？	所属 東京都立農業高等学校 氏名 埴 枝里子				
資料名	日本経済新聞「国民一律10万円給付へ 政府・与党「30万円」は撤回」 (2020年4月16日日本経済新聞社など) <a href="https://www.nikkei.com/article/DGXMZ058144470W0A410C2MM8000/">https://www.nikkei.com/article/DGXMZ058144470W0A410C2MM8000/</a>					
資料内容	<p>○ 2020年春、政府は住民基本台帳に記録されている者に一律10万円の「特別定額給付金」を支給することを決めた。</p> <p>○ 当初、支給には所得制限が設けられ、一世帯30万円支給を基本とする予定だったが、政治調整の結果、一律10万円となった。</p> <p>○ これにより歳出総額が膨らみ、赤字国債の発行増額で賄うこととなった。(約4兆円, 1300万世帯を対象から実際には約12兆8,803億円, 全国民を対象へ)</p>					
教科書等との関連	中学校公民的分野 政府の役割 財政と租税 高等学校公民科 市場機能の機能と限界 財政と租税					
キーワード	コロナ 市場経済 効率 公正 財政					
ねらい	◆10万円給付を「効率」と「公正」の視点で整理し、2回目以降の給付について考察する					
活用場面 あるいは 授業プラン の概略	<p><b>発問</b> 「皆さんは、緊急時の経済支援措置として、全国民に一律10万円給付されたことを覚えていますか。(私は・・・に使いました。)今日は10万円給付を経済の見方・考え方を用いて考察していきましょう。」</p> <p><b>解説</b> 経済の見方・考え方に「効率」と「公正」というものがあります。「効率」とは、限られた資源をいかに効率的に配分するか、またコストをいかに削減し、最大限の効果を得るかという意味です。「公正」は、不平等や不公平な社会より平等で公平な社会の方が望ましく、豊かさは一部の人のみでなく、多くの人が共有するというものですが、唯一の答えはありません。では、今回の10万円給付を「効率」と「公正」の視点で整理してみるとどうなるのでしょうか。</p> <p><b>整理の例</b></p> <table border="1" data-bbox="360 1384 1444 1675"> <thead> <tr> <th data-bbox="360 1384 890 1435">効率</th> <th data-bbox="890 1384 1444 1435">公正</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="360 1435 890 1675"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予算規模が約3倍増え、赤字国債で賄った(※現時点での資源を増やした)</li> <li>・自治体の対象者抽出コストは減った一方で、対象者が増え、全体業務のコストは増えた</li> </ul> </td> <td data-bbox="890 1435 1444 1675"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・所得制限を撤廃したため、<u>形式的平等にそ</u><u>うものだったが</u>、本当に困っている人の経済支援措置になっていたか、実質的平等では疑問が残った</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table> <p>通常、「効率」と「公正」はトレード・オフの関係にあり、一部の箇所は効率と公正と言えます。「公正」は価値判断を含むので判断が難しいですが、「効率」面でも疑問の残る10万円給付だったようです。皆さんなら、次の給付があるならどうあるべきだと思いますか? 「効率」と「公正」の視点で考えてみましょう。</p>		効率	公正	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算規模が約3倍増え、赤字国債で賄った(※現時点での資源を増やした)</li> <li>・自治体の対象者抽出コストは減った一方で、対象者が増え、全体業務のコストは増えた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所得制限を撤廃したため、<u>形式的平等にそ</u><u>うものだったが</u>、本当に困っている人の経済支援措置になっていたか、実質的平等では疑問が残った</li> </ul>
効率	公正					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算規模が約3倍増え、赤字国債で賄った(※現時点での資源を増やした)</li> <li>・自治体の対象者抽出コストは減った一方で、対象者が増え、全体業務のコストは増えた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所得制限を撤廃したため、<u>形式的平等にそ</u><u>うものだったが</u>、本当に困っている人の経済支援措置になっていたか、実質的平等では疑問が残った</li> </ul>					
備考	<p>帝国書院「現代社会の考え方・効率性と公平性をどのようにバランスさせるか」(一橋大学経済研究所 教授小塩隆士)が効率と公平の見方・考え方を活用した授業づくりのヒントになる。なお、本稿では効率性と公平性を「効率」と「公正」として用いている。</p> <p><a href="https://www.teikokushoin.co.jp/journals/society/pdf/201403/01_hssobl_2014_03_all.pdf">https://www.teikokushoin.co.jp/journals/society/pdf/201403/01_hssobl_2014_03_all.pdf</a></p>					